

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活課題に対応した学習充実事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	06	05	04
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	健康、安全などの生活課題に係る講座に参加を希望する市民	意図	健康、安全、男女の自立など生活課題に応じた学習機会を提供。
事業内容	そば打ち体験、親子で学ぶ調理実習や食育講座、バリアフリー事業等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	未婚率の上昇、女性の就業率の上昇、勤労世代の勤務形態の多様化等により、生活スタイルも多様化しているため、テーマとなる生活課題も幅広くなってきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	7	12	7	回	→→	そば打ち体験・バリアフリー演劇鑑賞会など
②	講座受講者数	131	482	204	人	→→	そば打ち体験・バリアフリー演劇鑑賞会など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・例年実施している「そば打ち体験」や初の実施となる「パパと一緒に和菓子づくり」等の体験型の講座に参加希望者が集まった。 ・「日本語講座」「家庭教育講座」などに同伴の幼児の保育を実施した。 ・「バリアフリー演劇鑑賞会」を実施。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,569,811	2,655,549	2,530,467				
事業費(b)(円)		114,311	165,949	74,667				
うち一般財源		114,311	165,949	74,667				
職員給与費(c)(円)		3,455,500	2,489,600	2,455,800				
人役・職員(人)		0.40	0.30	0.30				
人役・再任用(人)		0.30	0.20	0.20				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市民の多様な生活スタイルの中から、市民がより必要と考える生活課題を拾い出し、新たな講座を実施する。	③取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> 講座終了後の参加者の活動支援 講座のテーマに合った講師の発掘
②H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土料理や食文化について理解と関心を高めてもらう講座を実施した。 障害のある方にも演劇を楽しめる場の提供を実施した。 	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き生活力の向上を目指し、食育の講座などを実施していく。